

平成 25 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル  
代表者名 代表取締役社長 中島 將典  
(JASDAQ・コード番号8275)  
問合せ先 取締役 加藤 康二  
電話 03-3498-1541

**(訂正)「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は平成 25 年 12 月 10 日付け「過年度有価証券報告書等、決算短信の訂正に関するお知らせ」において過年度決算を訂正する旨の公表いたしましたが、これに基づき「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」(平成 23 年 2 月 14 日公表)の記載事項の一部について、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

記

**【訂正事項】**

サマリー情報

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)
  - (1) 連結経営成績 (累計)
  - (2) 連結財政状態

添付資料

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報
  - (1) 連結経営成績に関する定性的情報
  - (2) 連結財政状態に関する定性的情報
3. 四半期連結財務諸表
  - (1) 四半期連結貸借対照表
  - (2) 四半期連結損益計算書
  - (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
  - (5) セグメント情報

□ サマリー情報

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

（百万円未満切捨て）

（訂正前）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,742	1.1	336	66.2	336	92.5	<u>201</u>	<u>200.4</u>
22年3月期第3四半期	23,484	△8.4	202	—	174	—	67	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>14.87</u>	—
22年3月期第3四半期	4.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>15,190</u>	<u>5,375</u>	<u>32.2</u>	<u>360.47</u>
22年3月期	15,814	5,126	29.2	340.03

（参考）自己資本 23年3月期第3四半期 4,889百万円 22年3月期 4,612百万円

（訂正後）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,742	1.1	336	66.2	336	92.5	<u>63</u>	<u>△5.4</u>
22年3月期第3四半期	23,484	△8.4	202	—	174	—	67	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>4.68</u>	—
22年3月期第3四半期	4.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>15,007</u>	<u>5,192</u>	<u>31.7</u>	<u>350.28</u>
22年3月期	15,814	5,126	29.2	340.03

（参考）自己資本 23年3月期第3四半期 4,751百万円 22年3月期 4,612百万円

□ 添付資料

2 ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(訂正前)

(省略)

四半期純利益は201百万円（前年同四半期比200.4%増）となりました。これは投資有価証券評価損53百万円、減損損失46百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円などによるものです。

(省略)

(訂正後)

(省略)

四半期純利益は63百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。これはのれん償却額183百万円、投資有価証券評価損53百万円、減損損失46百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円などによるものです。

(省略)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(訂正前)

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ623百万円減少し15,190百万円となりました。

(省略)

(固定資産)

固定資産は6,048百万円となり、前連結会計年度末比12百万円の増加となりました。これは主としてリース資産の増加による有形固定資産の増加34百万円、のれん、ソフトウェアなどの償却による無形固定資産の減少258百万円、保有有価証券の時価の回復による投資その他の資産の増加236百万円によるものです。

(省略)

(純資産)

純資産は5,375百万円となり、前連結会計年度末比249百万円の増加となりました。これは主として四半期純利益201百万円による増加、剰余金の配当169百万円による減少、その他有価証券評価差額金の増加246百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,076百万円（前年同四半期は641百万円の獲得）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が197百万円に対して、資金支出のない費用である減価償却費が273百万円であったのに加え、売上債権の減少による資金の増加1,075百万円及び仕入債務の減少による資金の減少686百万円によるものです。

(省略)

(訂正後)

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ806百万円減少し15,007百万円となりました。

(省略)

(固定資産)

固定資産は5,864百万円となり、前連結会計年度末比171百万円の減少となりました。これは主としてリース資産の増加による有形固定資産の増加34百万円、のれん、ソフトウェアなどの償却による無形固定資産の減少442百万円、保有有価証券の時価の回復による投資その他の資産の増加236百万円によるものです。

(省略)

(純資産)

純資産は5,192百万円となり、前連結会計年度末比65百万円の増加となりました。これは主として剰余金の配当169百万円による減少、その他有価証券評価差額金の増加246百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,076百万円（前年同四半期は641百万円の獲得）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が13百万円に対して、資金支出のない費用である減価償却費が273百万円、のれん償却額が313百万円であったのに加え、売上債権の減少による資金の増加1,075百万円及び仕入債務の減少による資金の減少686百万円によるものです。

(省略)

□ 添付資料

5 ページ 3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	924,681	890,606
無形固定資産		
のれん	<b>993,716</b>	1,161,387
その他	328,463	419,554
無形固定資産合計	<b>1,322,180</b>	1,580,941
投資その他の資産		
投資有価証券	2,906,118	2,569,431
その他	1,389,489	1,454,329
貸倒引当金	△494,438	△459,390
投資その他の資産合計	3,801,170	3,564,370
固定資産合計	<b>6,048,032</b>	6,035,918
繰延資産	5,698	7,705
資産合計	<b>15,190,866</b>	15,814,248
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	<b>△2,790,835</b>	△2,822,954
自己株式	△101,518	△101,446
株主資本合計	<b>3,746,420</b>	3,714,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,143,935	897,838
為替換算調整勘定	△1,019	—
評価・換算差額等合計	1,142,915	897,838
少数株主持分	<b>486,600</b>	514,564
純資産合計	<b>5,375,936</b>	5,126,776
負債純資産合計	<b>15,190,866</b>	15,814,248

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	924,681	890,606
無形固定資産		
のれん	<u>810,429</u>	1,161,387
その他	328,463	419,554
無形固定資産合計	<u>1,138,893</u>	1,580,941
投資その他の資産		
投資有価証券	2,906,118	2,569,431
その他	1,389,489	1,454,329
貸倒引当金	△494,438	△459,390
投資その他の資産合計	<u>3,801,170</u>	3,564,370
固定資産合計	<u>5,864,745</u>	6,035,918
繰延資産	5,698	7,705
資産合計	<u>15,007,579</u>	15,814,248
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	<u>△2,929,015</u>	△2,822,954
自己株式	△101,518	△101,446
株主資本合計	<u>3,608,240</u>	3,714,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,143,935	897,838
為替換算調整勘定	△1,019	—
評価・換算差額等合計	<u>1,142,915</u>	897,838
少数株主持分	<u>441,493</u>	514,564
純資産合計	<u>5,192,649</u>	5,126,776
負債純資産合計	<u>15,007,579</u>	15,814,248

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
(省略)		
特別損失		
前期損益修正損	20,000	—
固定資産除売却損	6,579	2,040
投資有価証券売却損	15,895	—
投資有価証券評価損	26,814	53,125
減損損失	755	46,866
貸倒損失	2,093	—
事務所移転費用	—	23,835
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
過年度不正流用損失	2,660	—
その他	16,659	8,409
特別損失合計	91,459	<b>167,039</b>
税金等調整前四半期純利益	191,786	<b>197,002</b>
法人税、住民税及び事業税	23,714	69,562
法人税等調整額	82,605	△105,307
法人税等合計	106,320	△35,744
少数株主損益調整前四半期純利益	—	<b>232,747</b>
<b>少数株主利益</b>	18,326	<b>31,079</b>
四半期純利益	67,139	<b>201,668</b>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
(省略)		
特別損失		
前期損益修正損	20,000	—
固定資産除売却損	6,579	2,040
投資有価証券売却損	15,895	—
投資有価証券評価損	26,814	53,125
減損損失	755	46,866
<b>のれん償却額</b>	<b>—</b>	<b>183,286</b>
貸倒損失	2,093	—
事務所移転費用	—	23,835
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
過年度不正流用損失	2,660	—
その他	16,659	8,409
特別損失合計	91,459	<b>350,326</b>
税金等調整前四半期純利益	191,786	<b>13,715</b>
法人税、住民税及び事業税	23,714	69,562
法人税等調整額	82,605	△105,307
法人税等合計	106,320	△35,744
少数株主損益調整前四半期純利益	—	<b>49,460</b>
<b>少数株主利益又は少数株主損失 (△)</b>	<b>18,326</b>	<b>△14,027</b>
四半期純利益	67,139	<b>63,488</b>

## (第3四半期連結会計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
(省略)		
特別損失		
固定資産除売却損	2,013	86
投資有価証券評価損	21,189	6,721
減損損失	—	46,609
事務所移転費用	—	6,543
その他	6,119	6,760
特別損失合計	29,322	<b>66,722</b>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,253	<b>△47,518</b>
法人税、住民税及び事業税	7,429	△49,112
法人税等調整額	45,580	△40,604
法人税等合計	53,010	△89,716
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	—	<b>42,198</b>
<b>少数株主利益</b>	6,108	<b>25,677</b>
<b>四半期純利益</b>	3,134	<b>16,520</b>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
(省略)		
特別損失		
固定資産除売却損	2,013	86
投資有価証券評価損	21,189	6,721
減損損失	—	46,609
<b>のれん償却額</b>	<b>—</b>	<b>183,286</b>
事務所移転費用	—	6,543
その他	6,119	6,760
特別損失合計	29,322	<b>250,009</b>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,253	<b>△230,805</b>
法人税、住民税及び事業税	7,429	△49,112
法人税等調整額	45,580	△40,604
法人税等合計	53,010	△89,716
<b>少数株主損益調整前四半期純損失(△)</b>	—	<b>△141,088</b>
<b>少数株主利益又は少数株主損失(△)</b>	6,108	<b>△19,429</b>
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	3,134	<b>△121,659</b>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,786	<u>197,002</u>
減価償却費	278,765	273,073
のれん償却額	126,045	<u>130,059</u>
(中略)		
小計	701,708	1,125,160
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,786	<u>13,715</u>
減価償却費	278,765	273,073
のれん償却額	126,045	<u>313,346</u>
(中略)		
小計	701,708	1,125,160
(省略)		

(5) セグメント情報

(訂正前)

[セグメント情報]

(省略)

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

(訂正後)

[セグメント情報]

(省略)

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、特別損失の「のれん償却額」を183,286千円計上しております。当該のれんの減少額は、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会 平成21年6月9日 会計制度委員会報告第7号)第32項の規定にならって、のれんを償却したものであります。

以上